ECOACTION　２１

エコアクション２１

環境経営レポート

2022 年度版

期間(2022 年４月から 2023 年３月まで)

Let's Clean up with Marukyo

☆　２０２３年　７月　１日発行

株式会社　　丸　共

〒940－0004　新潟県長岡市高見町３０３９番地５

TEL　０２５８－２４－０７００

FAX　０２５８－２５－２１３３

発行者　丸共エコアクション２１委員会事務局

目　次

2023 年 7 月 1 日版
株式会社 丸共

1.環境経営方針 ・・・

1.環境経営方針

環 境 経 営 方 針

環　境　理　念

株式会社丸共は、廃棄物処理・運搬及びリサイクル事業を通じて、地球環境の改善・保全と持続可能な社会の実現を目指し、環境保全の担い手として自然の声・お客様に応えていきます。また、地球環境保全の重要性を認識し、日々の事業活動を通じて、快適な住みよい社会を次世代へと引き継ぐことに貢献します。

環 境 経 営 方 針

当社は、環境理念の基に、環境と経済を両立させた持続可能な社会の推進を目指します。そのため環境経営システムを構築し、下記により環境影響への取り組みを効果的・効率的に行い、環境負荷の低減に努めます。

1. 環境影響に配慮した事業活動の推進

廃棄物処理を適切かつ安全に行うとともに次に上げる項目は、環境目標を設定し、その達成のために取り組みます。

①二酸化炭素排出量の削減に努める。
②水資源の節水に努める。
③廃棄物排出量の削減に努める。
④地域社会貢献活動の推進を行う。
⑤中間処理業務では再資源化率向上に努める。

２．法規則等の遵守

事業に関係する諸法令、規則等を遵守し、安全確実に業務を遂行します。

３．社員の育成

環境経営方針を含む環境経営システムは文書化し、当社が果たすべき役割などについて、研修・啓蒙活動を通じて社員全員に自覚させ、自発的に行動出来る様育成します。

４．環境経営レポートの作成と公表

環境経営レポートを作成し、環境への取り組み状況を社員に周知するとともに、お客様をはじめ一般の人から要請があれば開示します。

２０１０年４月１日 制定
２０１１年４月１日 改定
２０１７年６月１０日　代表者変更により改定
２０２０年４月１日 改定
２０２２年１０月１日　代表者変更により改定

株　式　会　社　　丸　　共
代表取締役社長　　金内　宏彰

2.〔組織の概要〕

（１）事業者名及び代表者氏名

株式会社 丸共　　（かぶしきがいしゃ　まるきょう）
代表取締役社長　　金内　宏彰　(かねうち　ひろあき)

（２）所在地

本社　　〒940-0004　新潟県長岡市高見町 3039 番地 5
車両センター　　〒940-0004　新潟県長岡市高見町字ｶﾂﾎﾞ起 3131 番地 1

（３）環境管理責任者氏名・連絡先

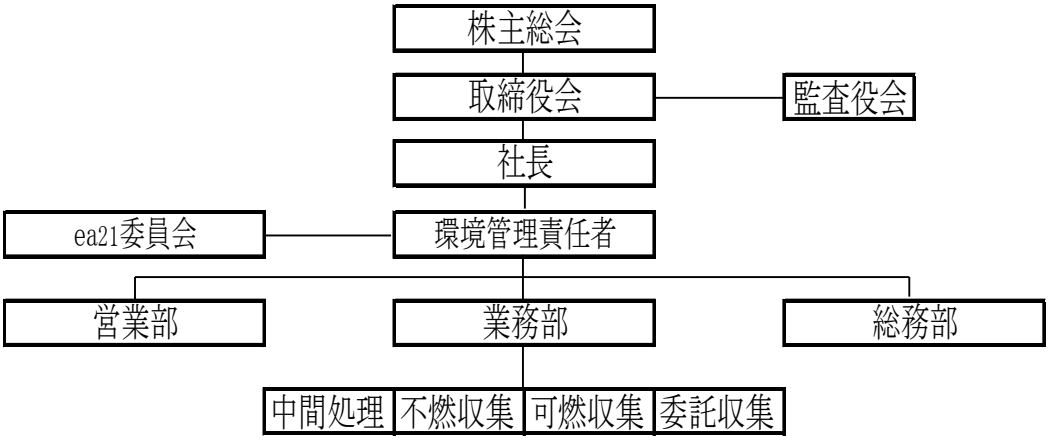
環境管理責任者　代表取締役社長　金内　宏彰
連絡先　　電話　(0258)24-0700　　FAX (0258)25-2133
E-ﾒｰﾙ　kaneuchi@marukyou.com
URL　http://www.marukyou.com

（４）事業活動の内容

- 一般廃棄物の収集運搬・中間処理及びリサイクル業
- 産業廃棄物の収集運搬・中間処理及びリサイクル業
- 特別管理産業廃棄物の収集運搬業

（５）　事業の規模、組織の概要

・法人設立年月日　　昭和３７年 10 月 9 日
・従業員数　　81 人
・資本金　　4,000 万円
・売上高　　926 百万円　(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)
・事務所･工場床面積　　2,931 平方メートル
・　〃　敷地面積　　9,958 平方メートル
・関連会社　　株式会社クリーンリード
・組織図



3.対象範囲(認証・登録範囲)〕

全組織・全活動

4.会 社 の 沿 革

昭和３６年　４月　「丸共清掃社」として長岡市中沢で事業を始める
昭和３７年１０月　組織を「有限会社丸共清掃社」に変更(資本金１５０万円)
昭和４７年１０月　長岡市一般廃棄物処理業許可を取得
昭和４８年　７月　新潟県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
昭和６２年　９月　本店を長岡市高見町３０６３番地１に移転
昭和６３年　９月　組織を「株式会社丸共清掃社」に変更
昭和６３年１０月　商号を「株式会社丸共」に変更
平成　４年　５月　資本金６００万円に増資
平成　５年　５月　資本金を１，０００万円に増資
平成　５年１０月　新潟県特別管理産業廃棄物収集運搬業許可を取得
平成　８年　４月　新潟県産業廃棄物処分業許可を取得
平成　９年　２月　資本金を２，０００万円に増資
平成　９年　４月　中間処理リサイクルセンターを長岡市高見町に設置し、リサイクルを開始
平成１１年　１月　新潟県廃棄物再生事業者登録
平成１１年　２月　古物商許可を取得
平成１１年　２月　新潟県産業廃棄物の積替・保管許可を取得
平成１１年　５月　新潟市産業廃棄物収集運搬業許可を取得(後に新潟県の許可に統一)
平成１１年　９月　フロン回収協力事業所認定を取得
平成１２年　４月　破砕洗浄脱水機設置、廃プラスチック類のリサイクルを開始
平成１２年　８月　粉砕選別機設置、ガラス瓶のリサイクルを開始
平成１３年　４月　出雲崎町一般廃棄物処理業許可を取得
平成１３年　６月　資本金を４，０００万円に増資
平成１４年　２月　第一種フロン類回収事業者登録
平成１４年　４月　ＰＥＴボトル、廃スプリングマットレス、機密書類リサイクルを開始
平成１４年　５月　長岡市一般廃棄物処理業許可（中間処理）を取得
平成１６年　９月　パソコンデータ消去及びリサイクルを開始
平成１８年　９月　神奈川県、金沢市の産業廃棄物収集運搬業許可を取得
平成１９年　３月　電子マニフェストシステムに加入し運用開始
平成２２年　４月　本店の登記を長岡市高見町３０３９番地５に変更
平成２２年１２月　使用済み飲料紙容器(牛乳パック等)のリサイクルを開始
平成２２年１２月　エコアクション２１認証・登録
平成２４年　７月　新潟県優良産業廃棄物処理業者認定(産業廃棄物収集運搬業)
平成２５年　４月　新潟県スマイルカンパニー(障害者多数雇用事業者)登録
平成２５年１０月　新潟県優良産業廃棄物処理業者認定(特別管理産業廃棄物収集運搬業)
平成２６年１２月　Tポイントサービスに加盟
平成２６年　１月　新潟県優良産業廃棄物処理業者認定(産業廃棄物処分業)
平成２７年１２月　埼玉県産業廃棄物収集運搬業許可取得
平成２８年　４月　新潟県スマイルカンパニー(障害者多数雇用事業者)登録失効
平成２８年　８月　石川県産業廃棄物収集運搬業許可取得
平成２８年　９月　金沢市産業廃棄物収集運搬業許可失効
令和　３年　８月　石川県産業廃棄物収集運搬業許可失効
令和　３年１０月　神奈川県産業廃棄物収集運搬業許可失効

５．　営業許可内容

産業廃棄物収集運搬業　許可一覧表

◎ = 収集運搬許可（積替え・保管を含む）　※1 = 廃乾電池に限る
〇 = 収集運搬許可（積替え・保管を除く）

株式会社　丸共

行政機関名	許可番号	産業廃棄物の種類																					許可の年月日	許可の有効年月日
		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	産業廃棄物を処分するために処理したもの	輸入された廃棄物		
新 潟 県	01514007291 優良認定	〇	◎	◎	◎	〇	◎	◎	◎	◎	〇	〇	◎	◎	◎	〇	◎	〇	〇	〇			令和1年8月16日	令和8年6月15日
埼玉県	01100007291		〇 ※1				〇	〇	〇	〇			〇	〇	〇		〇						令和2年12月3日	令和7年12月2日

以上、水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く。

特別管理産業廃棄物収集運搬業　許可一覧表

〇 = 収集運搬許可（積替え・保管を除く）

株式会社　丸共

行政機関名	許可番号	特別管理産業廃棄物の種類										許可の年月日	許可の有効年月日
		廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産業廃棄物	廃石綿等	汚泥	鉱さい	燃え殻	ばいじん			
新 潟 県	01554007291 優良認定	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		令和2年11月18日	令和9年10月5日

産業廃棄物処分業許可（中間処理）一覧表

○ = 中間処理許可　※2 = 発泡ｽﾁﾛｰﾙに限る
※3 = 廃ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾏｯﾄﾚｽに限る　※4 = 廃家電製品に限る

株式会社　丸共

行政機関名	許可番号	中間処理の区分	産業廃棄物の種類									許可の年月日	許可の有効年月日
			廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類			
新 潟 県	01524007291	破砕・減容処理	○ ※2									令和3年2月1日	令和10年1月6日
	優良認定	圧縮処理	○	○		○		○					
		選別処理	○					○	○				
		破砕洗浄脱水処理	○										
		破砕処理	○	○	○	○	○		○				
		圧縮梱包処理	○										
		解体選別処理	○					○ ※3					
		破砕選別処理	○ ※4					○ ※4					

※ 石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を除く

行政機関名	許可番号	取扱廃棄物の種類													許可の年月日	許可の有効年月日
		一般廃棄物（ごみ）	一般廃棄物（木くず）	特定家庭用機器												
長岡市	長岡市指令環業第43号	○ ※1													令和4年4月1日	令和6年3月31日
燕市	一般廃棄物処理業許可第31号	○ ※2													令和4年10月24日	令和6年3月31日
柏崎市	柏崎市指令環第316号の2		○												令和3年11月24日	令和5年11月23日
出雲崎町	出雲崎町指令第3号	○ ※3		○											令和5年3月10日	令和7年3月31日

一般廃棄物処分業許可（中間処理）一覧表

○ = 処分許可（中間処理）

株式会社　丸共

行政機関名	許可番号	業務内容	一般廃棄物の種類								許可の年月日	許可の有効年月日
			廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	動植物性食品残渣		
長岡市	長岡市指令環業第44号	処分(中間処理)	○	○	○	○	○	○	○	○	令和4年10月26日	令和6年3月31日
出雲崎町	出雲崎町指令第1号	処分(中間処理)	○	○	○	○	○	○	○	○	令和5年4月17日	令和7年5月22日

6.〔施設の状況〕

(1)　収集運搬車両の種類と保有台数

車　　種	使用燃料	積載重量	台　数
バン（アルミ箱）	軽油	2.0 t	6
〃	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ	2.0 t	7
塵芥車(ﾊﾟｯｶｰ車)	CNG天然ガス	2.55t	2
〃　（計量器付）	軽油	5.9 t	3
〃　（計量器付）	軽油	2.65t	13
〃	軽油	2.0 t	3
トラック　（ｸﾚｰﾝ付）	軽油	7.2 t	1
〃（脱着装置ｱｰﾑﾛｰﾙ）	軽油	7.9 t	3
〃（脱着装置ｱｰﾑﾛｰﾙ）	軽油	4.0 t	3
〃（ﾋｱﾌﾞ付ダンプ）	軽油	4.1t	1
			合計42 台

(2)　積替保管施設の状況

産業廃棄物の種類	面積（㎡）	高さ（m）	保管量（㎥）	備　考
廃プラスチック類	25	2.25	21	屋外
木くず	25	2.25	21	〃
がれき類	25	2.25	21	〃
ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	25	2.25	21	〃
金属くず	25	2.25	21	〃
紙くず	12	1.50	18	屋内
繊維くず	12	1.50	18	〃
ゴムくず	12	1.50	18	〃
廃油	10	1.50	2,400（ℓ）	〃
廃酸	2	1.50	800（ℓ）	〃
汚泥(廃乾電池に限る)	1.6	1.50	1.44	〃
廃蛍光灯	6.5	1.50	5.31	〃
石綿含有産業廃棄物 （廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類、ゴムくず、ガラスくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、金属くず）	51.8	1.20	7	〃

(3)　処分施設の状況、処分する種類･能力･処分方法

A. 産業廃棄物処理施設等の状況

1．　処理施設の種類

①　破砕減容処理施設（廃プラスチック類）

設置場所　　新潟県長岡市高見町字大潟3055番

設置年月日　　平成 29 年 2 月 27 日

処理能力　　1，200　kg／日

② 選別処理施設（金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・廃プラスチック類）

設置場所　新潟県長岡市高見町字大潟3055番
設置年月日　平成 9 年 4 月 15 日
処理能力　12，000　kg／日

③ 破砕洗浄脱水処理施設（廃プラスチック類）

設置場所　新潟県長岡市高見町字大潟3055番
設置年月日　平成 12 年 3 月 31 日
処理能力　3，200　kg／日

④ 圧縮処理施設

設置場所　新潟県長岡市高見町字大潟3066番1
設置年月日　平成 12 年 3 月 31 日
処理能力　2，880　kg／日　（廃プラスチック類）
2，880　kg／日　（紙くず）
2，400　kg／日　（繊維くず）
616　kg／日　（金属くず）

⑤ 圧縮処理施設（金属くず（空き缶に限る））

設置場所　新潟県長岡市高見町字大潟3055番
設置年月日　令和 4 年 4 月 25 日
処理能力　5，680　kg／日

⑥ 破砕処理施設

設置場所　新潟県長岡市高見町字大潟3054番
設置年月日　平成 14 年 4 月 23 日
処理能力　4，890　kg／日　（廃プラスチック類）
4，711　kg／日　（紙くず）
4，798　kg／日　（木くず）
4，849　kg／日　（繊維くず）
4，915　kg／日　（ゴムくず）

⑦ 破砕選別処理施設（廃プラスチック類・金属くず）

設置場所　新潟県長岡市高見町字大潟3055番
設置年月日　平成 31 年 3 月 24 日
処理能力　4，824　kg／日　（廃プラスチック）
9，048　kg／日　（金属くず）

⑧ 解体選別処理施設（廃プラスチック類・金属くず）

設置場所　新潟県長岡市高見町字大潟3066番1
設置年月日　平成 14 年 4 月 23 日
処理能力　1，600　kg／日

⑨ 圧縮処理施設（金属くず）

設置場所　新潟県長岡市高見町字大潟3055番
設置年月日　平成 20 年 7 月 28 日
処理能力　12.3　t／日

⑩ 圧縮処理施設（廃プラスチック）

設置場所	新潟県長岡市高見町字大潟3066番 1
設置年月日	平成 29 年 8 月 31 日
処理能力	6．0t／日

⑪ 圧縮処理施設（廃プラスチック類）

設置場所	新潟県長岡市高見町字大潟3066番1
設置年月日	平成 27 年 6 月 4 日
処理能力	６.０ｔ／日

⑫ 圧縮梱包処理施設(廃プラスチック類)

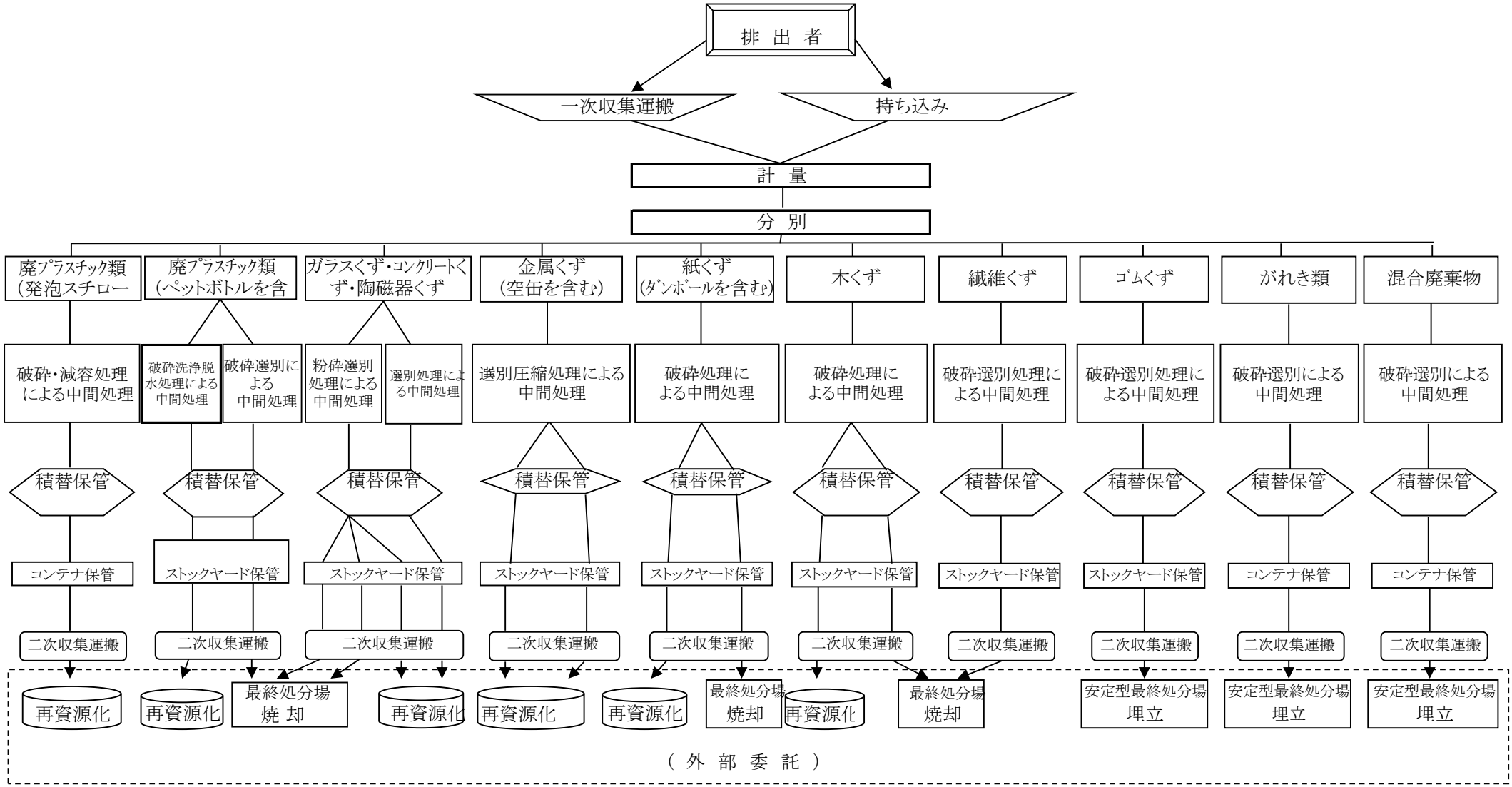
設置場所	新潟県長岡市高見町字大潟3055番
設置年月日	平成 30 年 9 月 3 日
処理能力	48．08t／日

B. 一般廃棄物処理施設等の状況

施設一覧表

種　類	数量	処理能力	処理方式	内　　容	処理対象物
破 砕 機	1基	4.9t/日	破 砕	破砕機 ベルトコンベア	廃プラスチック類 紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、 ガラスくず、陶磁器くず
破砕選別機	1基	4.82t/日	破 砕	破砕機 選別機 ベルトコンベア	廃プラスチック類 金属くず (廃家電品)
圧縮梱包機	1基	48 t/日	圧縮梱包	圧縮梱包機 ベルトコンベア	廃プラスチック類 (PETボトル)
解体選別機	1基	1.6 t/日	解体選別	解体選別機	スプリングマットレス
大型シュレッダー	1基	4.84t/日	破 砕	大型シュレッダー	紙くず(機密書類)
破砕洗浄脱水機	1基	3.2t/日	破 砕 洗 浄 脱 水	破砕機 洗浄機 脱水機 ベルトコンベア	廃プラスチック類
破砕減容機	1基	1.2t/日	破砕減容	破砕機 ベルトコンベア 減容機	廃プラスチック類 (発泡スチロール)
破砕分別機	1基	4.0t/日	破砕分別	破砕分別機	動植物性残渣
圧縮機	1基	2.88t/日	圧縮	圧縮機	廃プラスチック類 紙くず 繊維くず 金属くず
破袋洗浄脱水機	1基	2.4t/日	破袋・洗浄・脱水	破袋機・洗浄機脱水機・ｺﾝﾍﾞｱ	牛乳等の紙パック
備　　考	設置場所・・・・・・上記施設は全て長岡市高見町3055番の丸共リサイクルセンター(本社)に設置してあります。				

7.〔処分行程フロー図〕


排 出 者
一次収集運搬
持ち込み
計 量
分 別
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（発泡スチロー
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（ペットボトルを含
ガラスくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず・陶磁器くず
金属くず（空缶を含む）
紙くず（ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙを含む）
木くず
繊維くず
ｺﾞﾑくず
がれき類
混合廃棄物
破砕・減容処理による中間処理
破砕洗浄脱水処理による中間処理
破砕選別による中間処理
粉砕選別処理による中間処理
選別処理による中間処理
選別圧縮処理による中間処理
破砕処理による中間処理
破砕処理による中間処理
破砕選別処理による中間処理
破砕選別処理による中間処理
破砕選別による中間処理
破砕選別による中間処理
積替保管
コンテナ保管
ストックヤード保管
二次収集運搬
再資源化
最終処分場 焼 却
安定型最終処分場 埋立
（ 外 部 委 託 ）

8.〔事業計画の概要〕

当社は、昭和 36 年に創業し、当初は事業系一般廃棄物の収集運搬を中心に営んできました。

昭和 48 年に、新潟県から産業廃棄物収集運搬業の許可を、平成 8 年には産業廃棄物処分業の許可をいただき、以来「埋立しない、単純焼却をしない」を目指し、中間処理・リサイクルに力を入れております。

9.〔環境への主な負荷実績〕

	数 量	期間
二酸化炭素排出量	684,934 kg	2022 年度(2022.4 月～2023.3 月)
	687,141 kg	2021 年度(2021.4 月～2022.3 月)
	701,181 kg	2020 年度(2020.4 月～2021.3 月)
廃棄物排出量(一般廃棄物)	233 kg	2022 年度(2022.4 月～2023.3 月)
	415 kg	2021 年度(2021.4 月～2022.3 月)
	425 kg	2020 年度(2020.4 月～2021.3 月)
総排水量	上水道 831 ㎥	2022 年度(2022.4 月～2023.3 月)
	上水道 867 ㎥	2021 年度(2021.4 月～2022.3 月)
	上水道 801 ㎥	2020 年度(2020.4 月～2021.3 月)

10.環境経営目標とその実績(単年度及び中長期)

環境項目	単位	基準年実績	目標年度		
		2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
電力使用量の削減 【二酸化炭素削減】	kg-CO_2	82,877	82,463 (△0.5%)	82,049 (△1.0%)	81,634 (△1.5%)
	kWh	159,074	158,277 (△0.5%)	157,482 (△1.0%)	156,688 (△1.5%)
化石燃料使用量の削減 【二酸化炭素削減】	ℓ (ガソリン)	10,051	10,001 (△0.5%)	9,950 (△1.0%)	9,899 (△1.5%)
	ℓ (灯油)	12,613	12,550 (△0.5%)	12,488 (△1.0%)	12,423 (△1.5%)
	ℓ (軽油)	204,342	203,321 (△0.5%)	202,298 (△1.0%)	201,278 (△1.5%)
	kg(LNG)	8,273	8,232 (△0.5%)	8,190 (△1.0%)	8,149 (△1.5%)
	kg-CO_2 (合計)	604,264	601,245 (△0.5%)	598,220 (△1.0%)	595,222 (△1.5%)
一般廃棄物削減	kg	415	414 (△0.5%)	411 (△1.0%)	410 (△1.5%)
水使用量の削減	㎥	867	863 (△0.5%)	858 (△1.0%)	854 (△1.5%)
社会貢献活動	回	5	5	5	5
中間処理後の再資源化率	%	70.7	71.2 (0.5up)	71.7 (1.0up)	72.2 (1.5up)
グリーン購入	品目	32	33 (+1)	35 (＋3)	36 (＋4)

※ 平成 29 年度購入電力排出係数(実係数)東北電力　0.521(kg-CO2/kwh)

※ ＰＲＴＲ制度対象物質の使用はないため、化学物質に関する環境目標は設定しておりません。

環境経営目標の達成状況

		単位	2021 年度	2022 年度		
			実績	目標	実績	評価
二酸化炭素削減	電力	kg-CO_2	82,877	82,463	78,465	○
		kWh	159,074	158,277	150,606	△7,671
	ガソリン	kg-CO_2	23,318	23,202	20,344	○
		ℓ	10,051	10,001	8,769	△2,858
	軽油	kg-CO_2	527,202	524,568	526,012	×
		ℓ	204,342	203,321	203,881	＋1,444
	液化天然ガス	kg-CO_2	22,337	22,226	26,581	×
		kg	8,273	8,232	9,845	＋4,355
	灯油	kg-CO_2	31,406	31,249	33,530	×
		ℓ	12,613	12,550	13,466	＋2,281
	合　　計	kg-CO_2	687,141	683,708	684,934	× ＋1,226
一般廃棄物削減		kg	415	414	233	○ △181
水資源節約(上水道)		m^3	867	863	831	○ △32
社会貢献活動		回	5	5	6	○
中間処理後の再資源化率			70.7%	71.2%	68.1%	× △3.1%
グリーン購入			32 品目	33 品目	34 品目	○

※平成 29 年度 購入電力排出係数(実係数)東北電力 0.521(kg-CO2/kwh)

※弊社事業活動においてPRTR対象物質を使用することがないので、目標値を定めておりません。

11.〔環境経営計画と活動結果の評価〕 （期間 2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

取組計画		活動の達成状況	結果の評価
電力の削減	①消灯の励行	○ 優良	○ 数値目標達成 【目標 82,463kg-CO_2、実績 78,465kg-CO_2、】 取組活動は徹底され、目標値を達成することが出来た。
	②エアコン温度	○ 優良	
	③電気最小限使用	○ 優良	
燃料削減	①ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ	○ 優良	× 数値目標未達成 【目標 601,245kg-CO_2実績 606,467 kg-CO_2】 収集運搬の業務量が多く、使用燃料が増加したものの、社内 SNS の活用や、コース表のタブレット化により、運行計画の効率化がなされた事により、増加幅は最小限に留まったものと考えます。ガソリンの数値目標は達成出来たが、更なる削減努力を行っていきたい。
	②急加速停車抑制	○ 優良	
	③適正なタイヤ空気圧	○ 優良	
	④法定速度の遵守	○ 優良	
	⑤暖房の温度設定	○ 優良	
廃棄物削減	①排出量の把握	○ 優良	○ 数値目標達成 【目標 414kg 実績 233 kg】 取り組み活動の徹底により、目標値を達成することが出来た。
	②分別の徹底	○ 優良	
	③裏紙の使用	○ 優良	
	④ミスコピー防止	○ 優良	
節水	①不要時蛇口をしめる	○ 優良	○ 数値目標達成 【目標 863 m^3 、実積 831 m^3】 取り組み活動の徹底により、目標値を達成することが出来た。
	②節水シールをはる	○ 優良	
	③使用量のデータ	○ 優良	
社会貢献活動	①会社周辺美化活動	○ 優良	○ 目標達成 【目標 5 回、実績 6 回】 例年同様の美化活動の他、冬期間歩道除雪を行った。 加えて地域の学校の工場見学受入れや課外授業を行った。
中間処理後の再資源化率	①分別の促進	○ 優良	○ 目標達成【目標 71.2%－実績 68.1%】 金属資源相場の高騰を受け、金属くず等の受入が減少したことにより、目標数値を達成する事が出来なかった。
	②実績経過の確認	○ 優良	
ｸﾞﾘｰﾝ購入	事務用品のｸﾞﾘｰﾝ購入促進	○ 優良	○ 目標達成(目標 33 品目-実績 34 品目)
総括 ・・収集運搬業務が継続して増加しており、燃料の使用量が増加している。 今後も運行計画の効率化や、エコドライブ指導を徹底し、使用燃料の削減に努めていきたい。			

１２.次年度の環境経営目標

環境項目	単位	基準年実績	目標年度		
		2021 年	2022 年	2023年	2024年
電力使用量の削減 【二酸化炭素削減】	kg-CO_2	82,877	82,463 (△0.5%)	82,049 (△1.0%)	81,634 (△1.5%)
	kWh	159,074	158,277 (△0.5%)	157,482 (△1.0%)	156,688 (△1.5%)
化石燃料使用量の削減 【二酸化炭素削減】	ℓ (ガソリン)	10,051	10,001 (△0.5%)	9,950 (△1.0%)	9,899 (△1.5%)
	ℓ (灯油)	12,613	12,550 (△0.5%)	12,488 (△1.0%)	12,423 (△1.5%)
	ℓ (軽油)	204,342	203,321 (△0.5%)	202,298 (△1.0%)	201,278 (△1.5%)
	kg(LNG)	8,273	8,232 (△0.5%)	8,190 (△1.0%)	8,149 (△1.5%)
	kg-CO_2 (合計)	604,264	601,245 (△0.5%)	598,220 (△1.0%)	595,222 (△1.5%)
一般廃棄物削減	kg	415	414 (△0.5%)	411 (△1.0%)	410 (△1.5%)
水使用量の削減	m^3	867	863 (△0.5%)	858 (△1.0%)	854 (△1.5%)
社会貢献活動	回	5	5	5	5
中間処理後の再資源化率	%	70.7	71.2 (0.5up)	71.7 (1.0up)	72.2 (1.5up)
グリーン購入	品目	32	33 (+1)	35 (+2)	36 (+1)

※平成 29 年度 購入電力排出係数(実係数)東北電力 0.521(kg-CO2/kwh)

※弊社事業活動においてPRTR対象物質を使用することがないので、目標値を定めておりません

１３.次年度の環境経営計画（取組内容）

・次年度は、引き続き実施状況の評価を３段階から５段階で行います。活動の内容については、現活動を継続致します。

電 力・・・電気の使用量を 2021 年度比 1.0%削減する。

① 休憩時工場及び事務所内の消灯を励行する。

② エアコン使用時は室内温度夏 28℃以上冬 22℃以下にする。

③ 就業時間外は照明・エアコン等必要最小限で使用する。

④ 処理機械のメンテナンスを行う

⑤ 処理機械への投入を適量で行う

⑥ 処理機械の同時使用を極力行わない

燃 料・・・自動車燃料の使用量を 2021 年度比 1.0%削減する。

① アイドリングストップを励行する。

② 急発進・急加速を抑制する。

③ 最短・最良コースを心がける。

④ 適正なタイヤ空気圧

⑤ 法廷速度の遵守

⑥ フォークリフトの構内徐行運転

⑦ フォークリフトのベタ踏み運転禁止

灯 油・・・灯油の使用量を 2021 年度比 1.0%削減する。

① 暖房時室内温度は 22 度設定をする。

② 暖房は就業時間外においては必要最小限で使用。

③ 重機作業時間の効率化を図る。

④ 出来るだけスロットルを抑えた作業を行う。

水・・・・節水 2021 年度比 1.0%削減する。

① 流し、トイレに節水シールを貼る

② こまめに蛇口をしめる。

③ 使用量のデータ確認

社会貢献活動・・2021 年度の取組を継続して行う。

① 会社周辺の環境美化活動を年３回実施する。(冬期は歩道除雪)

② 地域の学校の見学受入れを行う。(２回程度)

中間処理後の
再資源化比率・・・2021 年度比 1.0%向上させる。

① 分別の促進

② 実績値の経過確認

グリーン購入・・・2021 年度比＋2 品目増加させる。

① 事務用品のグリーン購入を促進する。

廃棄物削減・・・・2021 年度比 1.0%削減

① 排出時の把握と測定

② 分別の徹底

③ ミスコピーの防止

④ 記録類の電子化保存に心がける。

14.〔環境関連法規制等の遵守状況の確認〕

業務に関連する主な環境関連法規は次のとおりです。

法規制等の名称	該当する要求事項	該当する設備・項目等
廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物収集運搬業許可	新潟県・埼玉県
	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可	新潟県
	感染性廃棄物処理マニュアル (混合がないこと・密閉容器での運搬)	感染性廃棄物収集運搬
	産業廃棄物処分業許可	新潟県
	一般廃棄物処理業許可(収集運搬)	長岡市・燕市・柏崎市・出雲崎町
	一般廃棄物処理業許可(処分)	長岡市
	新潟県廃棄物再生事業者登録	金属くず・ｶﾞﾗｽびん・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸの再生
	保管基準 (表示・飛散防止・浸透防止・衛生管理)	新潟県
	産業廃棄物管理表(ﾏﾆﾌｪｽﾄ)交付	マニフェスト交付・保管
	〃 交付状況報告書の提出	新潟県
特定家庭用機器再商品化法	家電指定4品目を指定引取所へ運搬	家電リサイクル券
資源の有効利用の促進に関する法律	廃棄品の全部・一部を再生資源として利用促進	廃パソコン類等
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	小型家電の再資源化を適正に行う	適正処理業者への引き渡し
フロン排出抑制法	第一種フロン類回収業者登録	フロン類回収量等に関する報告
	回収・破壊工程の確認	フロン類回収工程管理票
	第一種特定製品の定期点検	業務用空調機 2 台
下水道法	下水道の接続	公共下水道
浄化槽法	保守点検	浄化槽
労働基準法	時間外労働の適正な管理	36 協定書
労働安全衛生法	定期自主検査	フォークリフト・重機
グリーン購入法	環境物品等の選択購入促進	事務用品等
使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済自動車の再資源化促進	収集運搬車両
騒音規制法	特定施設の届出	第3種区域ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ等 7.5kwh 以上 木くず破砕機
振動規制法	特定施設の届出	第2種区域ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ等 7.5kwh 以上 木くず破砕機
古物営業法	古物商許可変更届	古物品の売買
消防法	消防用施設等点検	消火設備
新潟県の生活環境等の保全に関する条例	規制基準の遵守	木くず破砕機
新潟県産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例	県内廃棄物の県内処理 処理委託先の確認	処理委託先記録
長岡市生活環境の保全及び美化に関する条例	公害防止・環境の適正保全	中間処理施設
長岡市火災予防条例	少量危険物等の貯蔵取扱届出	可燃性固形物
長岡市地下水保全条例	揚水施設設置届 揚水量報告	消雪施設
東京都環境確保条例	首都圏対象地域のﾃﾞｨｰｾﾞﾙ車規制	収集運搬車
神奈川県生活環境保全条例	首都圏対象地域のﾃﾞｨｰｾﾞﾙ車規制	収集運搬車

環境関連法規制等の遵守状況は定期評価の結果違反はありませんでした。

また、関係当局等からの違反の指摘や訴訟は、過去5年間ありません。

15.〔代表者による全体評価と見直しの結果〕

1 環境方針

環境方針の理解は深まっているように見受けられます。
見直しの結果、今回は変更の必要は無い。

2 環境経営目標

収集運搬業務増加により、燃料使用量が増加している。
中間処理後の再資源化率ついては、資源相場の高騰を受け、特に金属くずの受入量が減少し、再資源化率全体に波及していると考える。今後も、相場の変動による受入量の変化を注視すること。

3 環境経営計画

ドライブレコーダやデジタルタコグラフのデータを用いた、エコドライブ指導や、ビジネスチャットを活用した運行計画の効率化等創意工夫し、使用燃料の削減に向け取り組みを行っていたことは評価できる。
今後も使用燃料削減に向けた更なる取り組みの強化をすること。(継続)

4 その他の環境経営システムの各要素

環境経営システムを通じ、社員自らが問題を感じ原因を追究し、解決するために行動を起こすといったサイクルが確立しつつある。今後もエコアクション２１システムを活用すること。(継続)

5 実施体制

必要な体制の構築がなされていると判断している。今後も「全員参加」を意識し役割を分担していくこと。

6 代表者による全体の評価

エコアクションの活動を通じ、経営面における費用削減等良い効果が得られている。
今後も「全社員」で取り組みを継続していくこと。

16.受託した産業廃棄物の処理量

処理種類等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
			令和３年４月～ 令和４年３月	令和４年４月～ 令和５年３月
収 集 運 搬	廃プラスチック類		1,340	1,263
	金属くず		874	818
	ガラスくず・陶磁器・ｺﾝｸﾘｰﾄくず		335	329
	紙くず		1	1
	がれき類		0	0
	汚泥		1,322	1,170
	廃油		3	7
	廃酸		0	7
	廃アルカリ		0	0
	木くず		283	363
	繊維くず		28	30
	動植物性残さ		1	4
	燃え殻		6	7
	特別管理産業廃棄物（医療系）		57	85
	事業系一般廃棄物		9,969	9,904
	合 計		14,219	13,988
中 間 処 理	廃プラスチック類	破砕等	1,269	1,193
	〃	破砕減溶	71	70
	金属くず	選別圧縮	874	805
	ガラスくず・陶磁器・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	破砕	335	329
	紙くず	破砕	1	1
	紙くず（一般廃棄物）	破砕洗浄脱水	25	25
	がれき類	破砕選別	0	0
	木くず	破砕	283	363
	繊維くず	破砕	28	30
	合 計		2,886	2,816
中間処理後の処分	廃プラスチック類	再生	959	914
	〃	安定型埋立	381	349
	金属くず	再生	874	805
	〃	安定型埋立	0	0
	ガラスくず・陶磁器・ｺﾝｸﾘｰﾄくず	再生	123	108
	〃	安定型埋立	212	221
	紙くず	焼却	1	1
	〃（一般廃棄物）	再生	25	25
	がれき類	再生	0	0
	〃	安定型埋立	0	0
	木くず	再生	66	75
	〃	焼却	217	288
	繊維くず	焼却	28	30
	合 計		2,886	2,816